

成果の説明書

(氏名) 飯島明宏	(学部) 地域政策学部
1 重要事項 ● 科研費基盤 C による研究 「教科と連環した新しいアクティブラーニング型環境教育の確立と教育効果測定指標の開発」 アクティブラーニング型の環境教育プログラムとして、地域河川を活用した水生生物調査学習会プログラムを構築した。主な成果について以下の通り発表した。 (1) 飯島明宏, 佐藤秀樹 (2020). 生物多様性の規定因の探索的研究, 昆虫と自然, 55 (9) , 31-34.. ● 環境省推進費による研究成果のとりまとめ 「革新的モデルと観測・室内実験による有機エアロゾルの生成機構と起源解明」 国立環境研究所、群馬県衛生環境研究所との共同研究のなかで、有機マーカ成分を用いたレセプターモデルによる有機エアロゾルの起源推計を行った。主な成果について以下の通り発表した。 (2) 森野悠, 佐藤圭, 藤谷雄二, 熊谷貴美代, 飯島明宏 (2020): 有機エアロゾルの起源解明に向けた成分分析の活用, クリーンテクノロジー, 2020 年 7 月号, 19-23. (3) 飯島明宏, 渡邊雅子, 熊谷貴美代, 齊藤由倫, 田子博, 星純也, 齊藤伸治, 佐藤圭, 森野悠 (2020): PMF モデルを用いた有機エアロゾルの寄与推計ー関東地域の都市、郊外、森林地点における PM2.5 昼夜別観測をもとにー, 第 61 回大気環境学会. (4) 熊谷貴美代, 齊藤由倫, 田子博, 渡邊雅子, 飯島明宏, 星純也, 齊藤伸治, 森野悠 (2020): 関東地域の都市、郊外、森林地点における PM2.5 有機マーカ成分の昼夜別観測, 第 61 回大気環境学会. (5) 飯島明宏 (2020): レセプターモデルを用いた有機エアロゾルの起源探索, 公益社団法人自動車技術会 第 2 回大気環境技術・評価部門委員会. (6) 飯島明宏 (2021): PM2.5 の起源を調べる 20 年の歩み ～計測から解析へ、解析から政策へ～, プラズマ分光文政研究会第 111 回講演会.	
2 その他の事項 ● 招待講演、学外委員 他 (7) 環境学習の進め方 ～関心から理解へ、理解から行動へ～, ぐんま環境学校 (エコカレッジ) , 前橋市, 2020.12.5. (8) 環境省 PM2.5 排出インベントリ及び発生源プロファイル策定検討会 委員 (9) 環境省 PM2.5・Ox 対策総合推進検討会 委員 (10) 高崎市 環境審議会 委員 (11) 高崎市 廃棄物処理施設専門委員会 委員 (12) 高崎市 水道事業及び公共下水道事業運営審議会 委員 (13) 高崎市 景観審議会 委員 (14) 藤岡市 環境審議会 委員 (15) 富岡市 汚泥再生処理センター施設整備総合評価審査委員会 委員 (16) 群馬県 環境審議会 委員 (17) 日本自動車研究所 二次粒子研究会 委員 (18) 日本自動車研究所 疫学研究会 委員	

3 次年度以降の計画・抱負

- 科研費による助成研究の推進

「教科と連環した新しいアクティブラーニング型環境教育の確立と教育効果測定指標の開発」

学習指導要領を対象としたテキストマイニング分析により、クロスカリキュラム型環境教育のポテンシャルを可視化するとともに、キーコンピテンシーを測定しうる評価指標の確立を目指す。

- 昆虫の食用利用に関する基礎研究

将来の食料安全保障の観点から、国連食糧農業機関が注目している昆虫の食用利用について、環境心理学的側面から普及の可能性に関する基礎研究に着手する。